

(3)生活指導・進路指導

ア 生活指導

- (ア) 生命尊重・人権尊重の精神を基盤とし、生活指導方針に基づき全校体制で生徒一人一人の理解に努め、特別支援教育専門員やSC・SSW及び支援員を活用した教育相談機能を充実させ、家庭や地域、関係機関等との連携を深めながら指導の充実を図る。
- (イ) 生徒自身が心を開いて自らの生活を振り返り、自己指導能力を育み、主体的に考え、判断することによって自己有用感を高め、自尊感情の高揚を図る。
- (ウ) 不登校や支援を必要とする生徒等に対して、家庭との共通理解を図り、校内別室での指導をはじめ、関係機関と連携するとともに、ICT機器の活用等により自立に向けた組織的・計画的な支援を行う。
- (エ) 昭島警察署、学校薬剤師等と連携して、セーフティ教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教育など総合的な安全教育を推進する。特に、情報活用能力の育成に力を入れる。
- (オ) 「東京マイ・タイムライン」を活用した安全指導を通して、自らの生命を守る行動を取る生徒を育成するとともに、自助・共助の力を身に付ける。また、「アレルギー疾患対応マニュアル」を計画的に活用し、食物アレルギーの事故を防止する。
- (カ) 「学校いじめ対策委員会」で定期的に情報交換を行い、対応策を全体で共有し、いじめ問題の早期発見・早期解消に努める。また、いじめの重大事態の調査に関するガイドラインを踏まえた、生徒や保護者に寄り添った指導を行う。
- (キ) 自殺防止を主題にした授業では、生命尊重の精神を培う。また、望ましい学級集団を形成するために学級満足度調査(WEB QU)や各種アンケートを活用し、生徒一人一人が安心して学校生活を送れるように支援する。
- (ク) 米作りで学んだ食物の大切さを重視した食育を行い、残菜量を減らす意識を育む。
- (コ) 部活動においては、顧問、部活動指導員、部活動指導補助員等は生徒の自主的な活動を支え、援助することを基本とし生徒の自主的な成長を目標とする。

イ 進路指導

- (ア) 「自己の生き方を主体的に考えさせる」進路指導において、体験的な学習を通して望ましい勤労観・職業観を育み、自主・自立の精神と社会に貢献する態度を育成する。
- (イ) 多様化する生徒の個性、進路決定先に対応するためにガイダンス機能の充実を図る。
- (ウ) 将来の夢の実現に向けて目標を定め、第1学年は「職業調べ」で情報活用能力、第2学年は「職場体験」で将来設計能力、「高校の先生を招いての体験授業」で意志決定能力、第3学年は自己実現能力を培う。各自が自己理解を深め、主体的に進路を選択する能力や態度を身に付け、「夢を語る福中生」育成のためのキャリア教育を進める。

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1)年間授業日数配当表

学 年	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	16	20	21	14	0	20	22	18	19	16	18	17	201
2	17	20	21	14	0	20	22	18	19	16	18	17	202
3	17	20	21	14	0	20	22	18	19	16	18	13	198
備考	※第1学年は、入学式が4/8のため授業日が1日少ない。 ※第3学年は、卒業式が3/18のため授業日は198日となる。 ※4/26(土), 5/24(土), 10/11(土), 3/7(土)を授業日とする。												

(2)各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等の年間指導時数配当表

区 分		学 年		
		1	2	3
各 教 科	国 語	140	141	105
	社 会	105	106	140
	数 学	140	106	140
	理 科	105	141	140
	音 楽	45	35	35
	美 術	45	35	35
	保 健 体 育	105	106	105
	技 術 ・ 家 庭	70	70	35
	外 国 語 (英 語)	140	141	140
	小 計	895	881	875
道 徳 科		35	36	35
総 合 的 な 学 習 の 時 間		50	74	70
特 別 活 動 (学 級 活 動)		41	41	35
総 計		1021	1032	1015
選 択 教 科	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語 (英語)			
	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語 (英語)			
	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語 (英語)			
備 考				
<p>ア 1単位時間は50分とする。</p> <p>イ 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動は月曜日1校時を原則とする。 ・生徒一人一人の個性を大切に、互いのよさを認め合える集団を築いていくために特別活動の充実を図る。 				

備	考
<p>ウ その他</p> <ul style="list-style-type: none">・総合的な学習の時間を、自然や人とのかかわりをテーマに、学年別のキャリア発達に応じた自己の生き方を深めさせる場として設定する。・自然や人とのかかわりにおいて、学校を取り巻く地域の方々の協力を得て、体験学習やゲストティーチャーから学ぶ時間を充実させる。	